

# I 調査結果の概要

## 1 全国主要都市平均の販売区分別の価格及び取扱数量の推移（1店舗当たり）

全国主要都市平均の販売区分別、月別の価格動向をみると、有機栽培品は、全ての品目が年間を通して国産標準品を上回って推移し、輸入品は、国産標準品を下回って推移している。

特別栽培品は、月別の騰落はあるものの、総じて有機栽培品と国産標準品の間の価格帯で推移している。

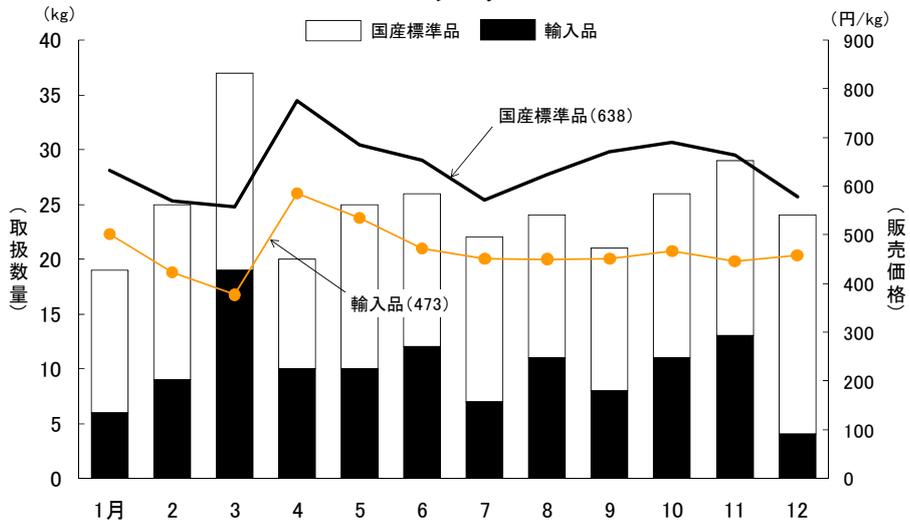
年平均取扱数量をみると、一部の品目を除いて国産標準品、輸入品、特別栽培品、有機栽培品の順で多くなっている。

また、販売区分別の価格（1kg当たり）及び取扱数量（1店舗当たり）を品目別にみると、以下のとおりであった。

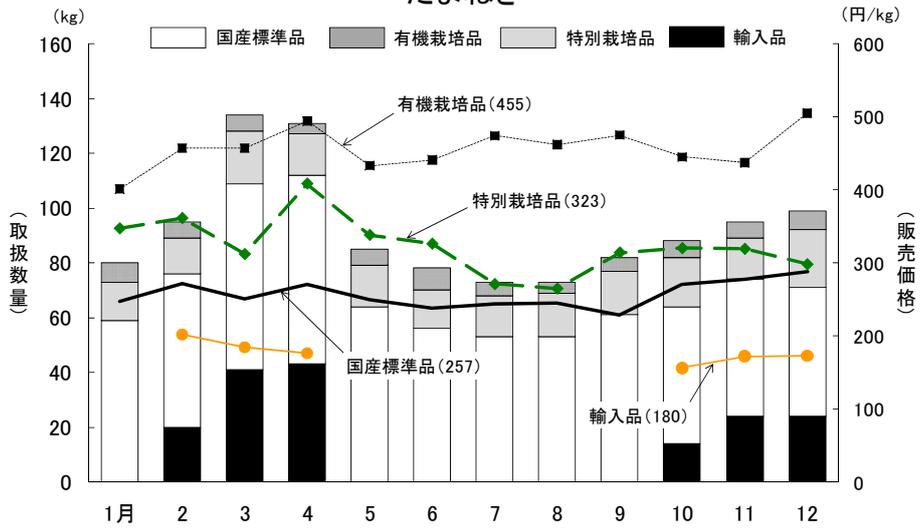
- (1) にんにく、しょうが、ごぼう、ブロッコリーは、毎月輸入品の取り扱いがあり、中でも、にんにく、しょうがは、ほとんどの月において輸入品が国産標準品の取扱数量を上回っている。価格は、にんにく、しょうが、ごぼうが国産標準品の半分以下の価格となっている。
- (2) たまねぎ、かぼちゃ、さといもは、輸入品と国産品（標準品、有機栽培品及び特別栽培品）との取り扱い時期の棲み分けが見られる。また、かぼちゃは、他の輸入品に比べ国産標準品との価格差は少ない。
- (3) ねぎ、生しいたけは、国産品（標準品、有機栽培品及び特別栽培品）の取扱数量が毎月一定しているにも関わらず輸入品を取り扱っている。また、国産標準品との価格差は大きく差別化が図られている。
- (4) たまねぎ、だいこん、ピーマンは、有機栽培品の中でも国産標準品に対する価格比が高く、特に高付加価値化がみられる。



### ブロッコリー



### たまねぎ



### かぼちゃ

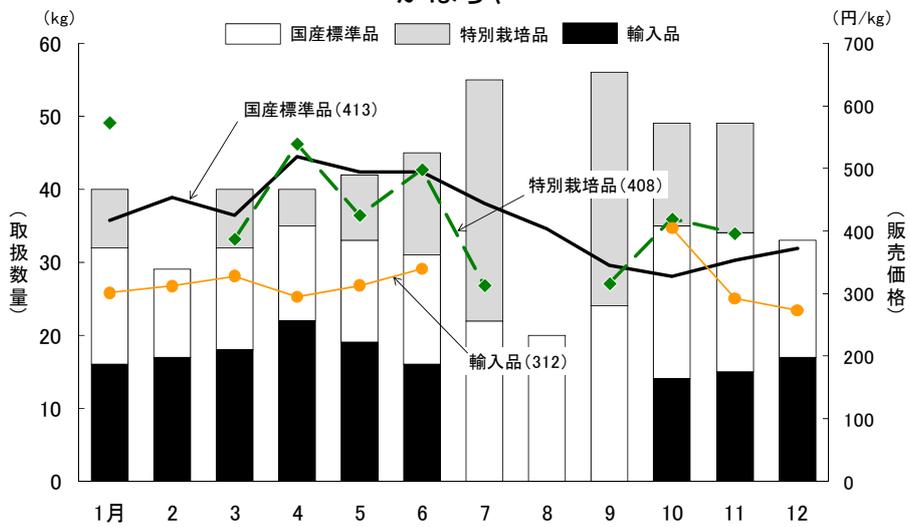
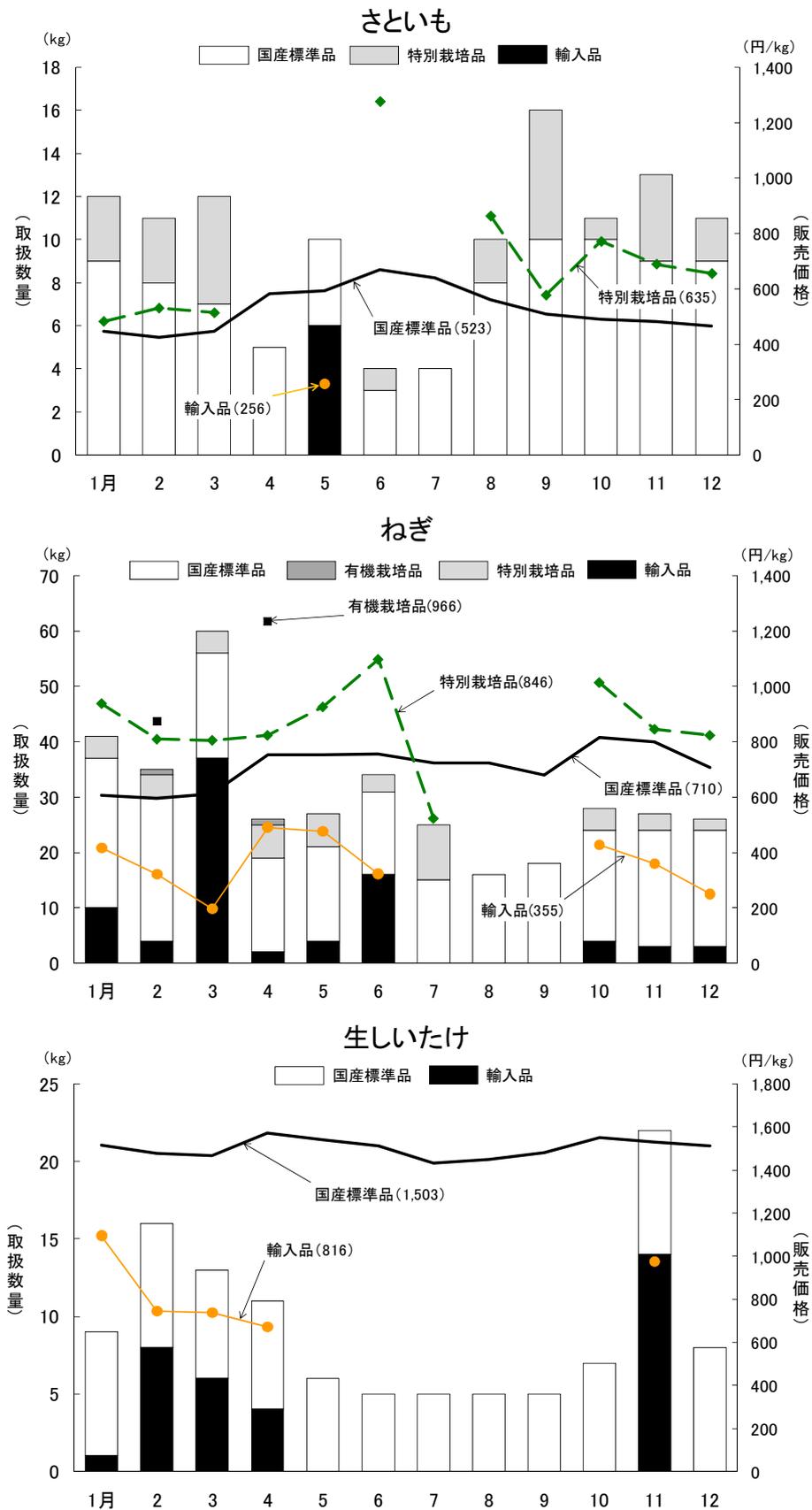
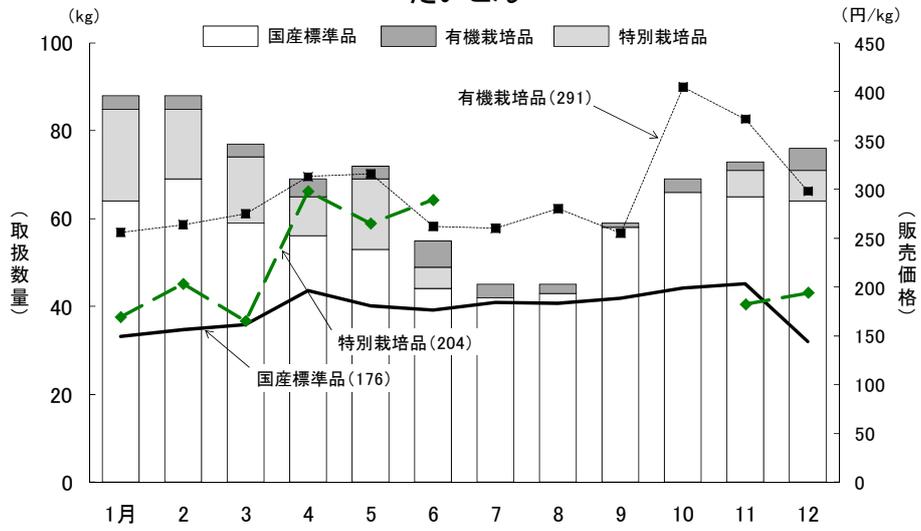


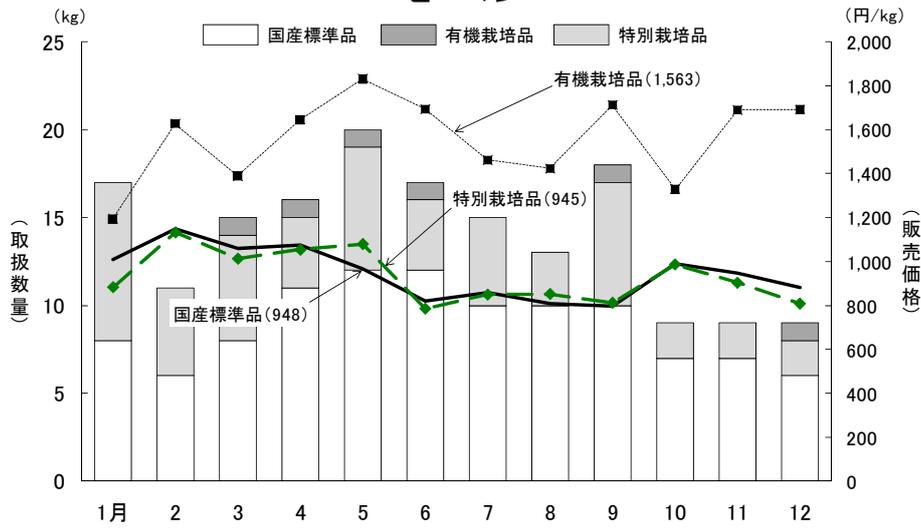
図1 販売区分別の価格及び取扱数量の推移（つづき）



### だいこん



### ピーマン



### にんじん

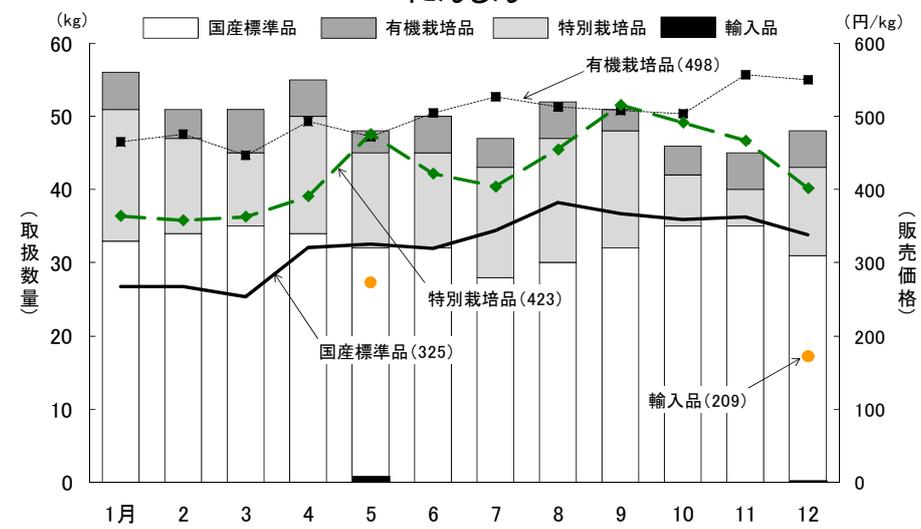
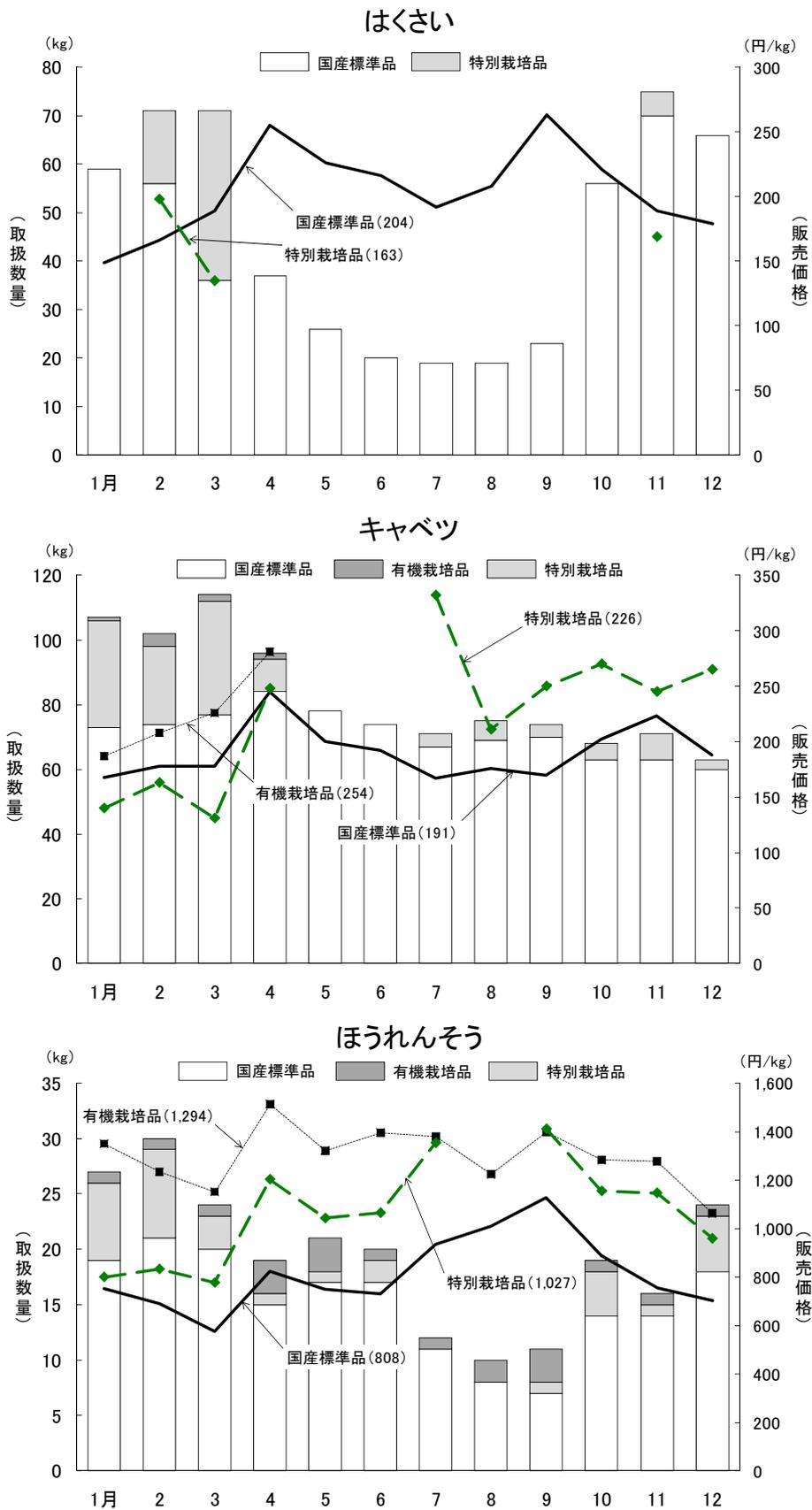
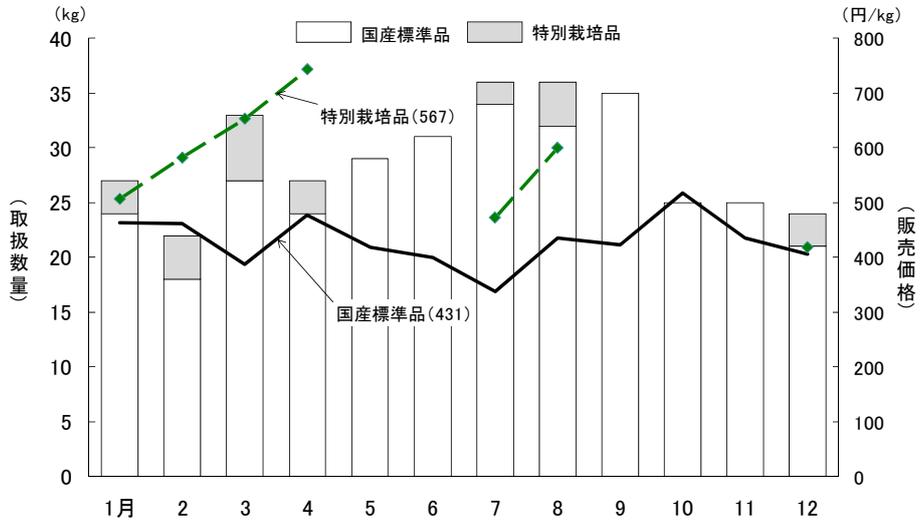


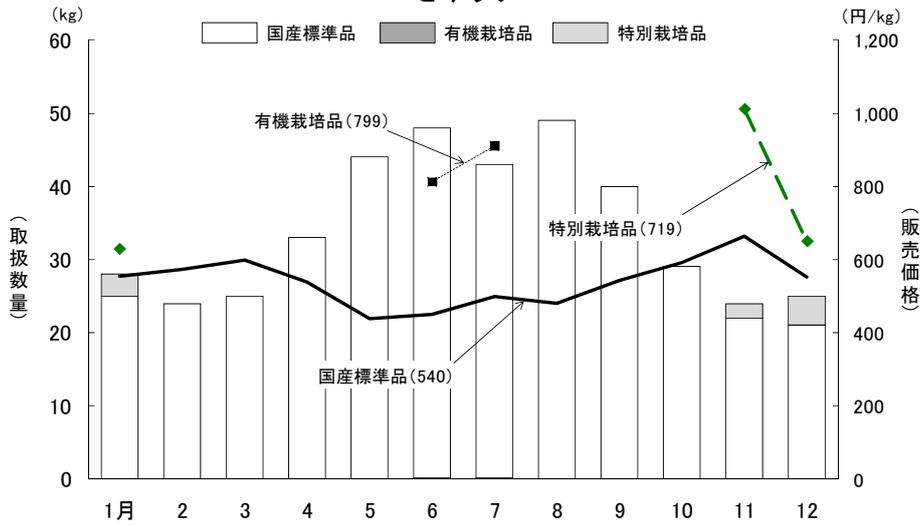
図1 販売区別の価格及び取扱数量の推移（つづき）



### レタス



### きゅうり



### なす

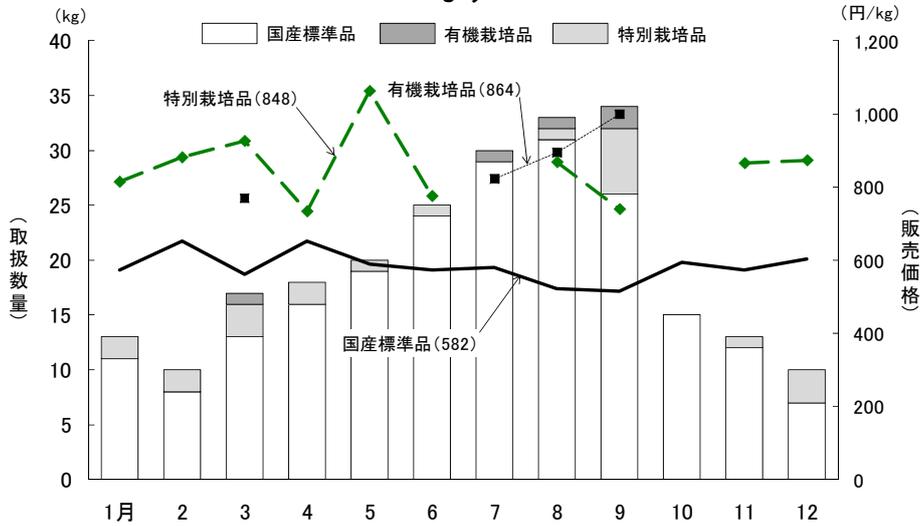
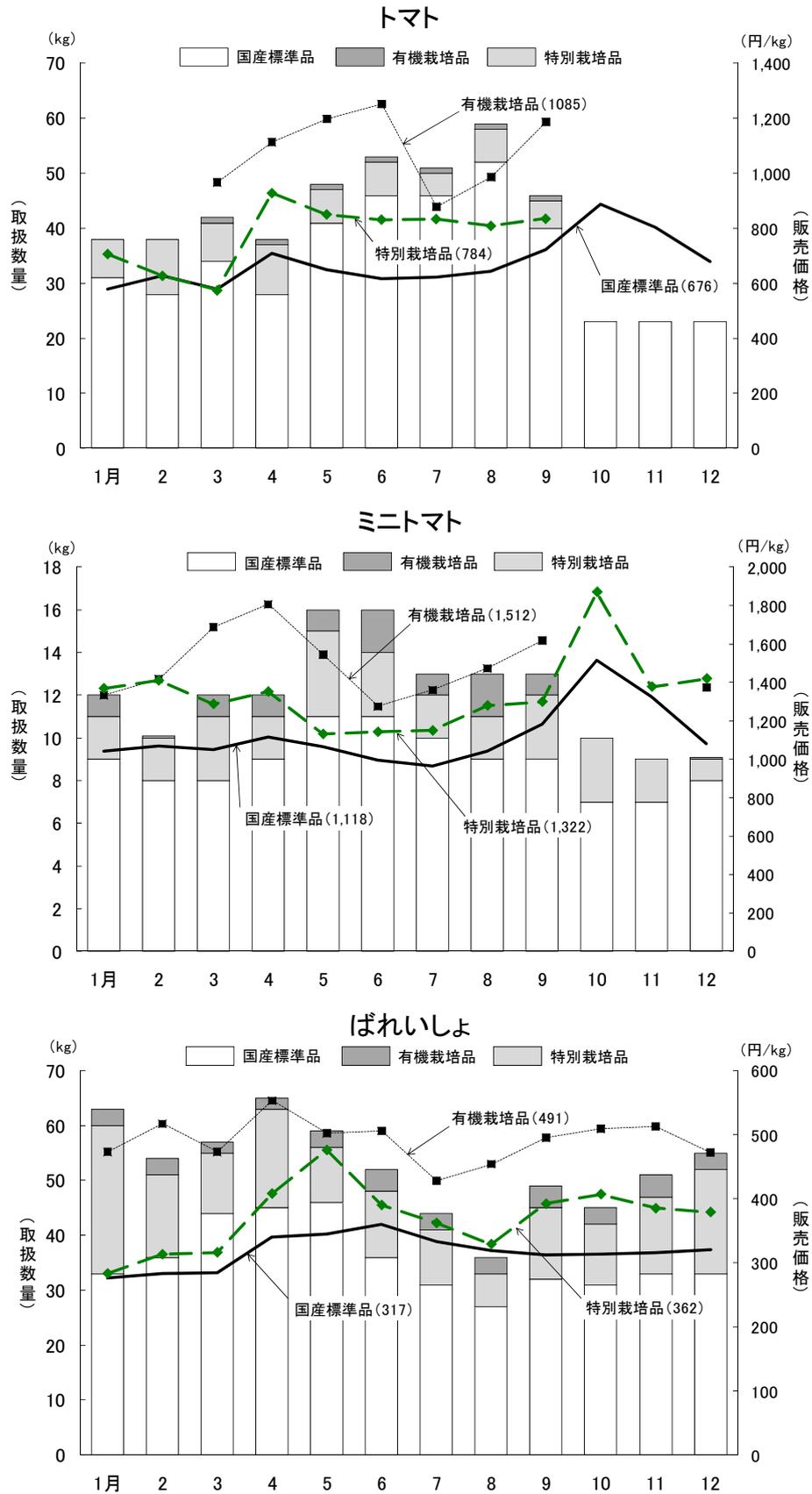


図1 販売区別の価格及び取扱数量の推移（つづき）



## 2 販売店舗の状況

### (1) 販売区分別の販売店舗数割合

ア かぼちゃは、国産標準品を取り扱っている販売店舗数割合が77%で他品目に比べ低い一方、輸入品を取り扱っている店舗は27%と高い割合となっている。

イ にんじん、ばれいしょ、たまねぎは、有機栽培品、特別栽培品がいずれも10%以上の店舗で取り扱われている。

ウ ブロッコリー、にんにくは、輸入品を取り扱っている店舗がいずれも25%以上で他品目に比べ高いにもかかわらず、国産標準品を取り扱っている店舗も90%以上と高い割合となっている。

表 1 販売区分別の販売店舗数割合

品 目	販売店舗数割合				対 前 年 差			
	国産標準品	有機栽培品	特別栽培品	輸入品	国産標準品	有機栽培品	特別栽培品	輸入品
だいこん	98.9	5.0	3.7	…	△ 0.3	△ 1.2	0.4	…
にんじん	97.4	16.5	10.5	0.4	△ 0.4	1.0	△ 1.4	△ 0.1
ごぼう	94.3	5.6	4.5	3.4	△ 2.3	△ 1.1	△ 1.1	△ 0.3
はくさい	98.0	…	0.6	…	△ 0.6	…	0.0	…
キャベツ	99.0	0.9	3.1	…	△ 0.1	△ 1.7	1.1	…
ほうれんそう	98.0	6.5	3.2	…	△ 0.4	△ 4.4	△ 0.9	…
ねぎ	98.8	0.9	2.6	1.7	△ 0.3	△ 0.1	1.1	0.4
ブロッコリー	91.6	…	…	25.3	△ 0.7	…	…	1.8
レタス	98.6	…	2.1	…	△ 0.2	…	△ 0.8	…
きゅうり	99.0	0.8	0.9	…	△ 0.2	△ 1.4	△ 3.2	…
かぼちゃ	77.3	…	3.2	26.7	△ 5.3	…	1.5	0.9
なす	98.3	1.3	3.3	…	△ 0.5	0.1	△ 0.5	…
トマト	99.0	2.2	5.9	…	0.0	△ 1.8	△ 1.9	…
ミニトマト	95.8	2.4	8.1	—	0.1	△ 0.1	△ 0.7	—
ピーマン	97.5	4.7	4.5	…	△ 1.4	0.1	△ 0.4	…
ばれいしょ	95.3	10.4	10.0	…	△ 1.6	△ 0.7	△ 0.1	…
さといも	91.6	…	3.9	0.5	△ 1.6	…	1.0	0.3
たまねぎ	96.3	14.9	15.3	3.6	△ 1.9	0.1	△ 0.4	2.4
にんにく	93.7	…	7.9	29.6	2.6	…	△ 3.8	0.1
しょうが	94.6	…	14.9	5.9	1.3	…	△ 2.0	△ 1.4
生しいたげ	98.9	…	…	2.3	0.6	…	…	1.3

単位 { 割合：%  
対前年差：ポイント

注：販売店舗数割合は、年間延べ調査店舗（1,267店舗）に対する、各品目の販売区分別の販売店舗数（年間延べ）の割合である。

## (2) 並列販売店舗数割合

ア 国産標準品と有機栽培品の並列販売店舗<sup>(注)</sup>では、にんじん、ばれいしょ、たまねぎが販売区分別の販売店舗数割合と同様に並列販売店舗数割合が比較的高く、いずれも10%以上の店舗で取り扱われている。

イ 国産標準品と特別栽培品の並列販売店舗では、たまねぎ、しょうがの並列販売店舗数割合が高く、いずれも10%以上の店舗で取り扱われている。

ウ 国産標準品と輸入品の並列販売店舗では、かぼちゃ、ブロッコリーが、販売区分別の販売店舗数割合（かぼちゃ26.7%、ブロッコリー25.3%）ほど高くなっていないことから、輸入品のみを取り扱っている販売店舗が少なくないことがわかる。

(注) 並列販売店舗とは、同じ品目について国産標準品と高付加価値品(有機栽培品、特別栽培品)又は輸入品のいずれかを同時に販売している店舗をいう。

表2 販売区分別の並列販売店舗数割合

品目	並列販売店舗数割合			対前年差		
	有機栽培品	特別栽培品	輸入品	有機栽培品	特別栽培品	輸入品
だいこん	5.0	2.7	…	△ 1.2	0.1	…
にんじん	15.7	8.8	0.4	0.8	△ 1.7	△ 0.1
ごぼう	5.4	2.8	2.6	△ 1.2	△ 1.3	△ 0.5
はくさい	…	0.2	…	…	0.1	…
キャベツ	0.9	2.2	…	△ 1.7	1.0	…
ほうれんそう	6.5	2.4	…	△ 4.0	△ 1.3	…
ねぎ	0.9	1.7	1.6	△ 0.1	0.9	0.3
ブロッコリー	…	…	18.6	…	…	1.3
レタス	…	1.3	…	…	△ 0.8	…
きゅうり	0.8	0.6	…	△ 1.4	△ 3.2	…
かぼちゃ	…	0.7	8.2	…	0.1	△ 2.8
なす	1.3	2.8	…	0.1	△ 0.6	…
トマト	2.2	5.4	…	△ 1.8	△ 2.2	…
ミニトマト	2.4	5.7	—	△ 0.1	△ 1.6	—
ピーマン	4.6	3.3	…	0.0	△ 1.4	…
ばれいしょ	10.0	6.2	…	△ 0.7	△ 1.1	…
さといも	…	1.4	0.2	…	0.0	—
たまねぎ	13.6	12.5	3.6	△ 0.8	△ 1.6	2.4
にんにく	…	5.1	27.8	…	△ 0.9	1.0
しょうが	…	11.2	5.5	…	△ 0.9	△ 1.1
生しいたけ	…	…	2.3	…	…	1.5

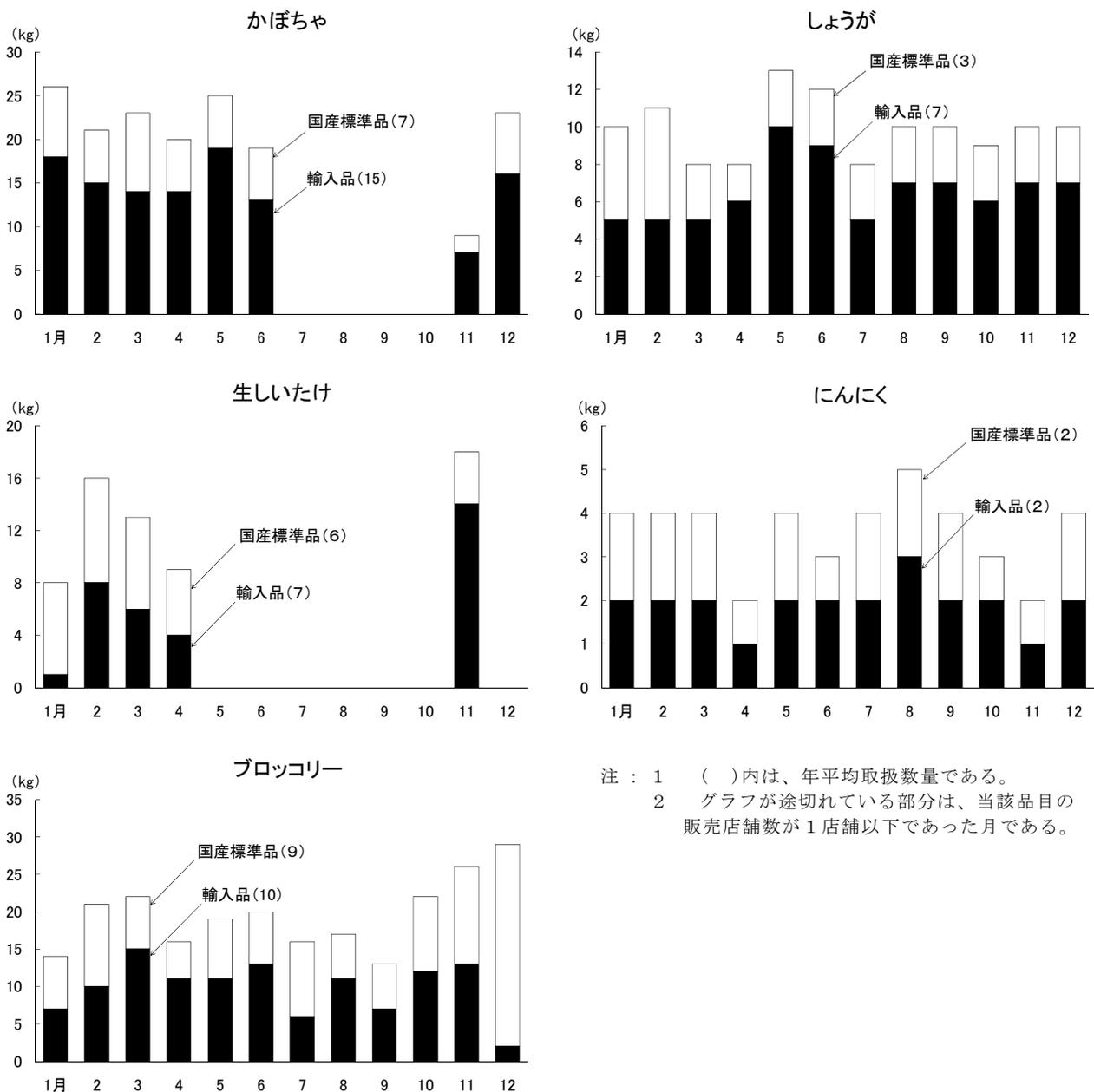
注：並列販売店舗数割合は、年間延べ調査店舗（1,267店舗）に対する、各品目の販売区分別の並列販売店舗数（年間延べ）の割合である。

### 3 国産標準品と輸入品の状況

#### (1) 輸入品並列販売店舗における国産標準品と輸入品の取扱数量の推移 (1店舗当たり)

国産標準品と輸入品を並列販売している店舗において、年間平均取扱数量で輸入品が国産標準品を上回った品目は、調査対象11品目のうち、かぼちゃ（国産標準品に対する輸入品の数量比234%。以下同じ。）、しょうが（208%）、生しいたけ（124%）、にんにく（116%）、ブロッコリー（111%）の5品目であった。

図2 輸入品並列販売店舗における国産標準品と輸入品の取扱数量の推移



## (2) 国産標準品単独販売店舗と輸入品並列販売店舗における国産標準品の価格推移（1店舗当たり）

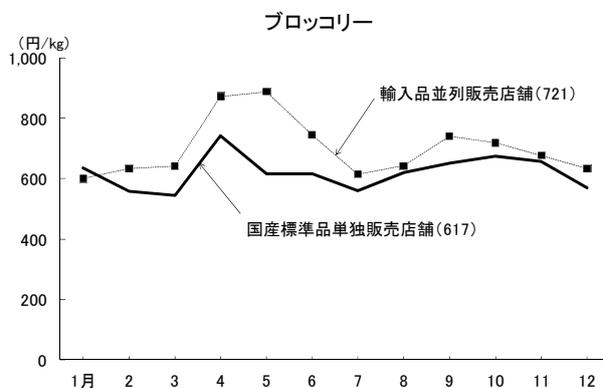
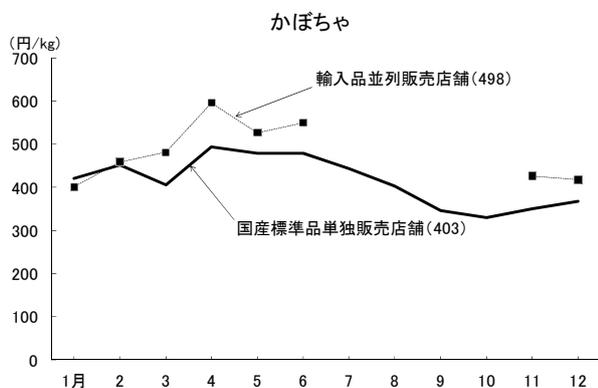
ア 国産標準品と輸入品を並列販売している店舗の国産標準品が、国産標準品単独販売店舗<sup>(注)</sup>の年平均価格を上回った品目は、調査対象11品目のうち、かぼちゃ(国産標準品単独販売店舗に対する輸入品並列販売店舗の国産標準品の価格比124%。以下同じ。)、ブロッコリー(117%)、しょうが(107%)、生しいたけ(101%)、にんじん(101%)の5品目であった。

イ 一方、上回っていない品目は、さといも(79%)、ごぼう(81%)、ねぎ(90%)、にんにく(97%)、たまねぎ(98%)の5品目であった。

ウ かぼちゃ、ブロッコリー、しょうが、生しいたけは、前項の取扱数量において輸入品が国産標準品を上回っている4品目でもあることから、輸入品を多く並列販売する店舗の国産標準品の価格が高くなっていることがわかる。

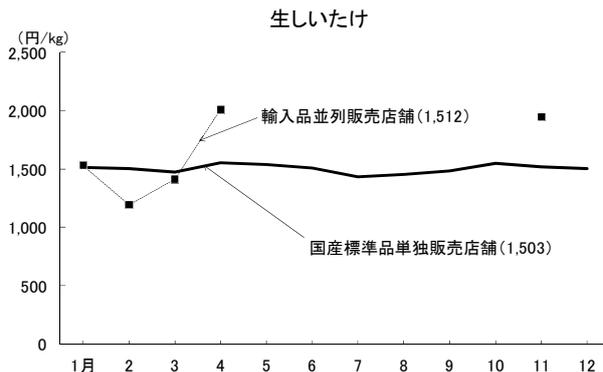
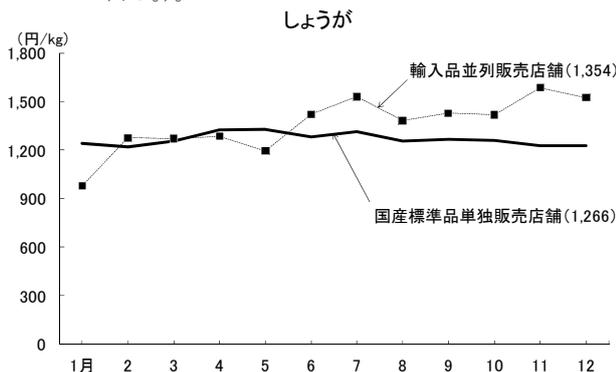
(注) 国産標準品単独販売店舗とは、同じ品目について国産標準品のみを販売している店舗をいう。

### 図3 国産標準品の価格推移



注： 1 ( )内は、年平均価格である。

2 グラフが途切れている部分、表示のない品目は、当該品目の販売店舗数が1店舗以下であった月である（以下同じ。）。



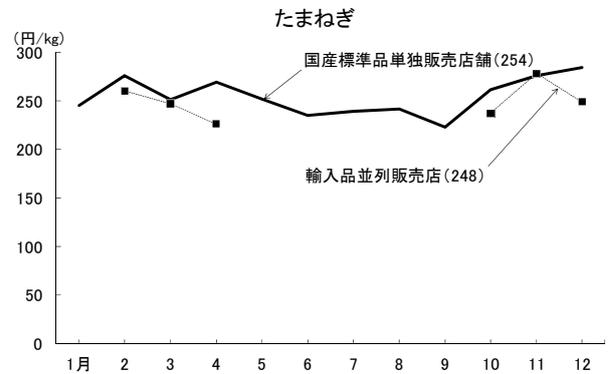
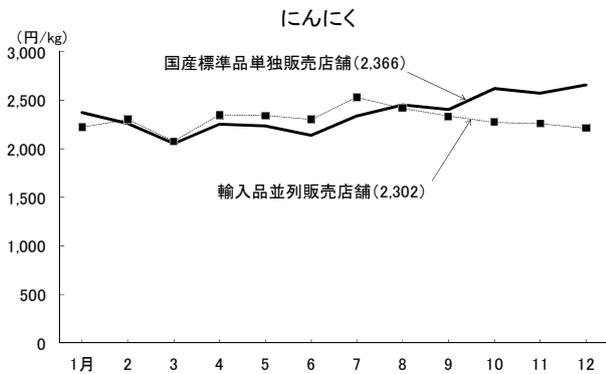
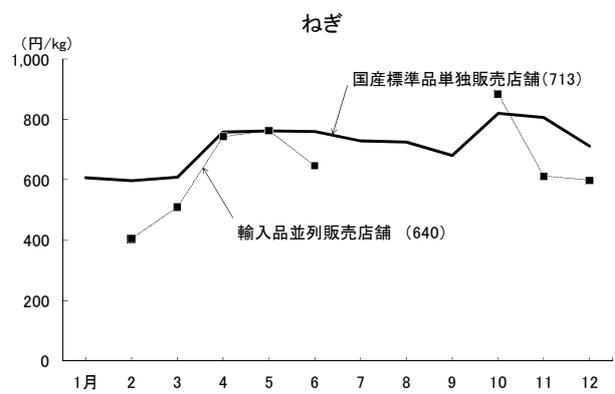
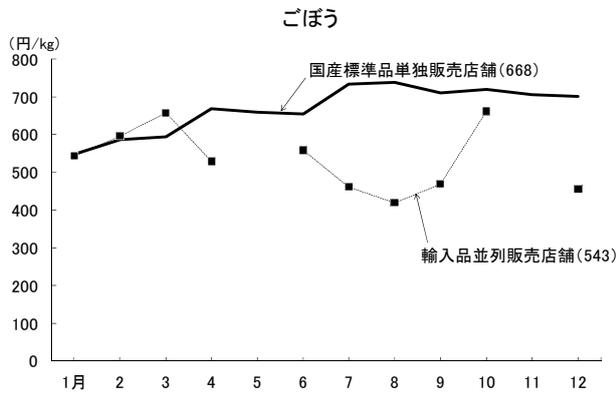
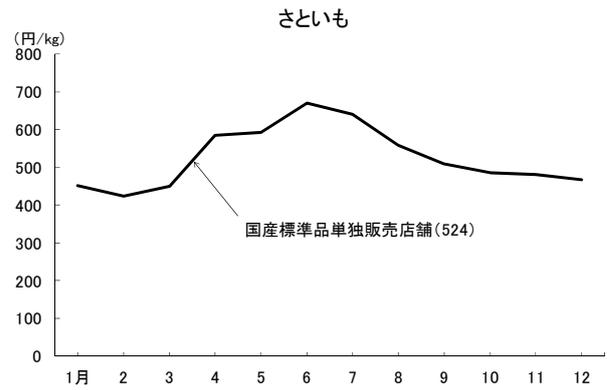
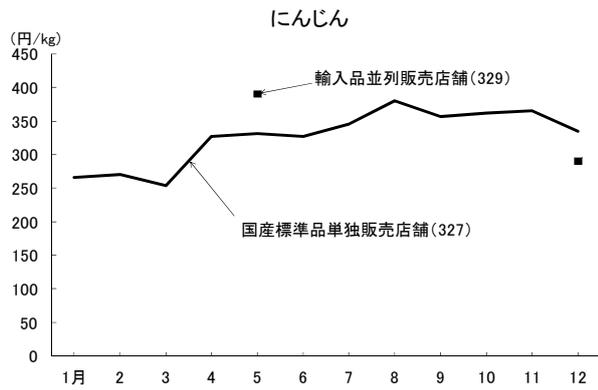


表3 国産標準品の年平均価格

区分	品目	単位	品目									
			かぼちゃ	ブロッコリー	しょうが	生しいたけ	にんじん	さといも	ごぼう	ねぎ	にんにく	たまねぎ
全店舗	①	円/kg	413	638	1 261	1 503	325	523	665	710	2 362	257
国産標準品単独販売店舗	②	円/kg	403	617	1 266	1 503	327	524	668	713	2 366	254
輸入品並列販売店舗	③	円/kg	498	721	1 354	1 512	329	415	543	640	2 302	248
価格比	③/②	%	124	117	107	101	101	79	81	90	97	98